

一般国道6号

常磐バイパス

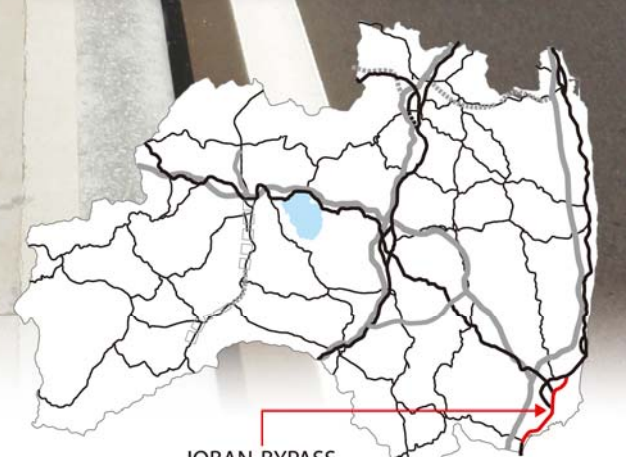
～いわきサンシャインロード～

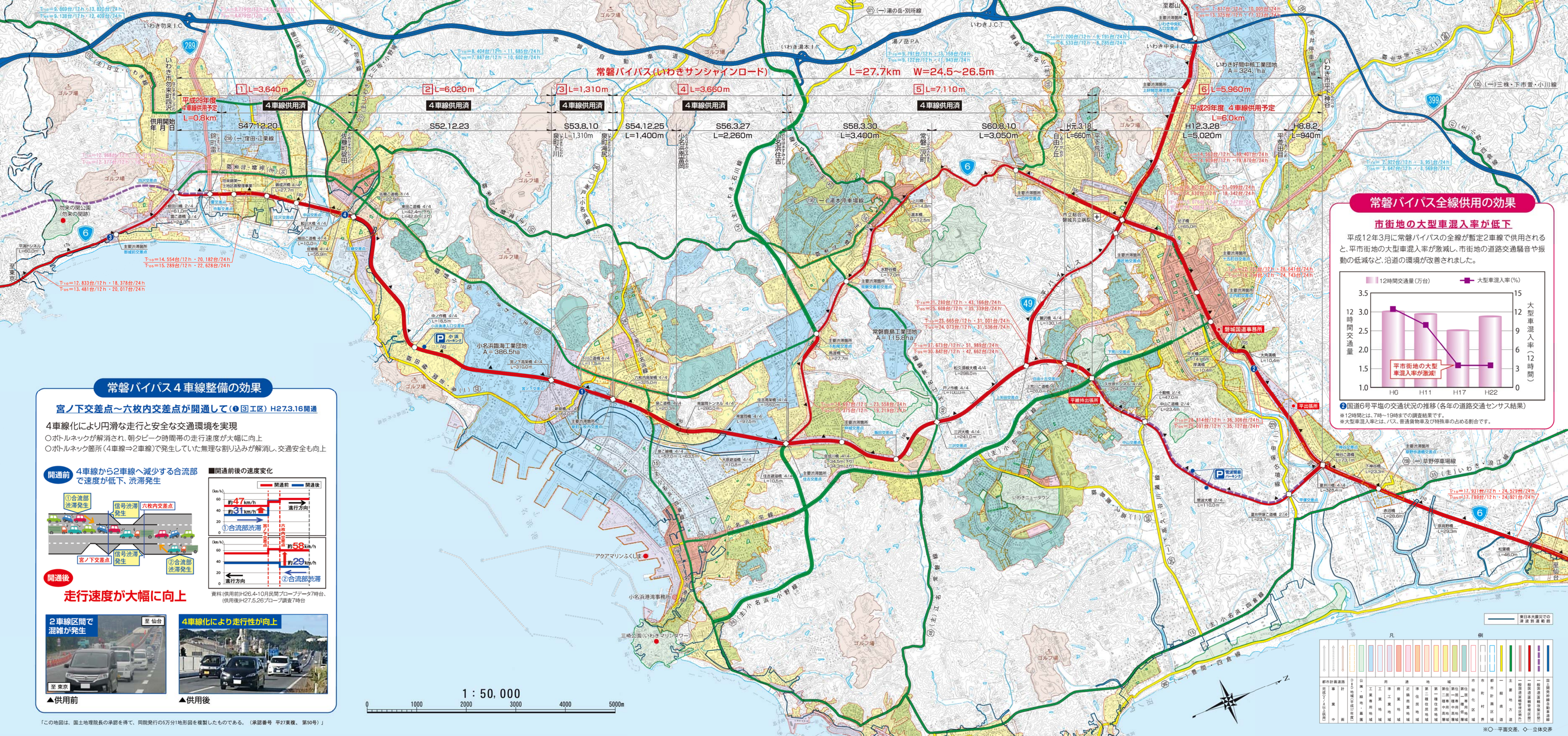


J O B A N - B Y P A S S



常磐バイパス

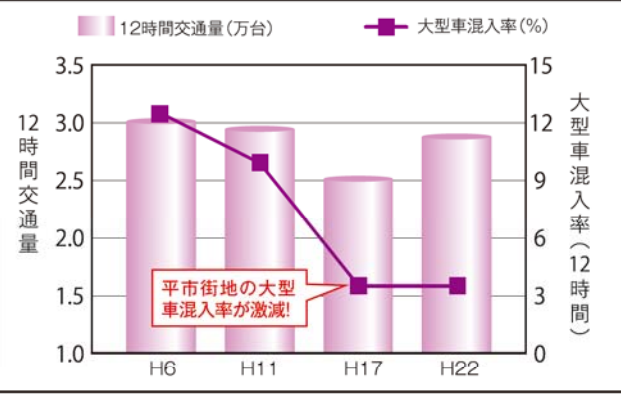




常磐バイパス全線供用の効果

市街地の大型車混入率が低下

平成12年3月に常磐バイパスの全線が暫定2車線で供用されると、平市街地の大型車混入率が激減し、市街地の道路交通騒音や振動の低減など、沿道の環境が改善されました。



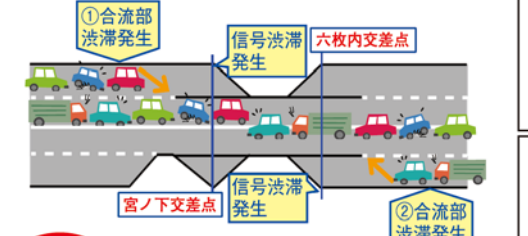
②国道6号平場の交通状況の推移(各年の道路交通センサス結果)
 ※12時間は、7時～19時までの調査結果です。
 ※大型車混入率は、バス、普通貨物車及び特殊車の占める割合です。

常磐バイパス4車線整備の効果

宮ノ下交差点～六枚内交差点が開通して(①国工区)H27.3.16開通

4車線化により円滑な走行と安全な交通環境を実現
 ○ボトルネックが解消され、朝夕ピーク時間帯の走行速度が大幅に向上
 ○ボトルネック箇所(4車線⇒2車線)で発生していた無理な割り込みが解消し、交通安全も向上

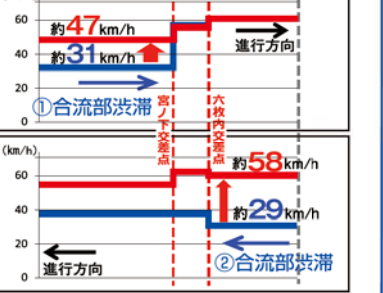
開通前 4車線から2車線へ減少する合流部で速度が低下、渋滞発生



開通後 走行速度が大幅に向上



開通前後の速度変化

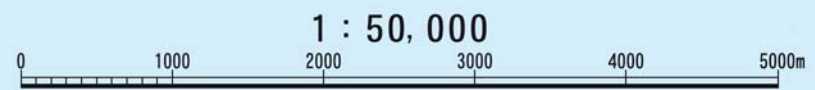


資料(供用前)H26.4~10月民間プローブデータ7時台、(供用後)H27.5.26プローブ調査7時台

4車線化により走行性が向上



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万1分地形図を複製したものである。(承認番号 平27東植、第50号)」



都市計画道路	工業用地	商業用地	住宅用地	公園	河川	緑地	その他
第一種市街地	第一種工業	第一種商業	第一種住宅	第一種公園	第一種河川	第一種緑地	第一種その他
第二種市街地	第二種工業	第二種商業	第二種住宅	第二種公園	第二種河川	第二種緑地	第二種その他
第三種市街地	第三種工業	第三種商業	第三種住宅	第三種公園	第三種河川	第三種緑地	第三種その他
第四種市街地	第四種工業	第四種商業	第四種住宅	第四種公園	第四種河川	第四種緑地	第四種その他
第五種市街地	第五種工業	第五種商業	第五種住宅	第五種公園	第五種河川	第五種緑地	第五種その他
第六種市街地	第六種工業	第六種商業	第六種住宅	第六種公園	第六種河川	第六種緑地	第六種その他
第七種市街地	第七種工業	第七種商業	第七種住宅	第七種公園	第七種河川	第七種緑地	第七種その他
第八種市街地	第八種工業	第八種商業	第八種住宅	第八種公園	第八種河川	第八種緑地	第八種その他
第九種市街地	第九種工業	第九種商業	第九種住宅	第九種公園	第九種河川	第九種緑地	第九種その他
第十種市街地	第十種工業	第十種商業	第十種住宅	第十種公園	第十種河川	第十種緑地	第十種その他

○…平面交差、◇…立体交差

常磐バイパスの事業概要

一般国道6号は、東京都中央区から宮城県仙台市を結び、浜通り地方の産業・経済・文化の交流を支える延長約433kmの主要幹線道路です。常磐バイパスは、いわき市内の交通混雑や沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と主要幹線道路としての機能強化を目的に、福島県いわき市勿来町四沢～平下神谷までのバイパスとして昭和41年に事業着手し、平成12年3月に全線2車線で暫定供用しています。暫定供用以降は、交通混雑区間の4車線化や主要交差点の立体化等を段階的に整備し、平成27年度末の4車線整備率は約75%に達しました。現在は、**㊦工区**の残りの区間と**㊧工区**の事業を促進し、平成29年度的全線4車線供用を目指しています。

●事業経緯

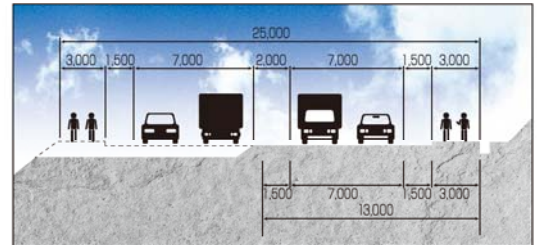
昭和39年度	調査着手
昭和41年度	事業着手
昭和43年度	用地着手
昭和44年度	工事着手
平成12年度	全線2車線暫定供用
平成29年度 ^{※1}	全線4車線供用予定

※1:供用予定年度については、事業進捗等により、変更になる場合があります。

●道路構造諸元

延長	27.7km
構造規格	3種1級(4車線)
設計速度	80km/h
曲線半径(最小)	400m
縦断勾配(最大)	4.0%

●標準横断面図



常磐バイパスの整備効果

■緊急輸送道路としての交通機能を発揮

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)を教訓として、重要橋梁の耐震補強工事を推進していたことから、東日本大震災時には、橋梁の前後で段差が生じたものの落橋することなく、緊急輸送道路としての機能を果たしました。



▲東日本大震災直後の緊急車両の走行状況



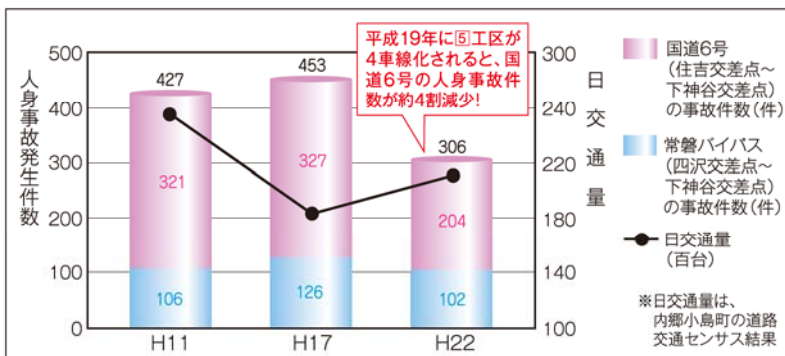
▲東日本大震災直後の鮫川大橋の被災状況



▲鮫川大橋の耐震補強状況

■国道6号市街地の交通事故件数が減少

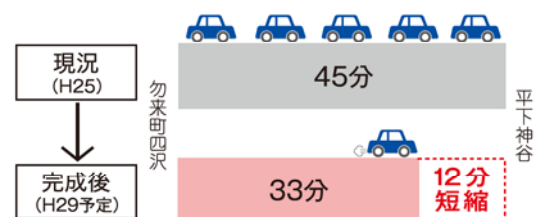
常磐バイパスが暫定2車線で全線供用し、段階的に4車線へ整備されると、市街地を通過していた交通が常磐バイパスへ転換され、国道6号市街地(住吉交差点～下神谷交差点)の交通事故件数が減少するなど、国道6号の安全性向上が図られました。



■事業効果(予測^{※2})

◎勿来町四沢～平下神谷間の所要時間が45分(朝夕のピーク時)→約33分に短縮されます。

◎浜通り地方で唯一の第三次救急医療施設である総合磐城共立病院への速達性も向上します。



※2:平成25年度当初を現況とし、平成29年度全線4車線供用後の効果を予測したものです。

東日本大震災の記憶を風化させない取組

国道6号には、東日本大震災の津波で浸水した区間に標識などで浸水した区間であることを明示しています。これらは、道路利用者の皆さまが常日頃から浸水範囲を認識していただくことで、有事の際の避難行動の一助となることを目的としています。

また、津波浸水を受けた佐糠町には、住宅地から常磐バイパスの歩道へ安全に避難できる緊急時避難階段を整備し、地域の防災力向上のための取組みも行っています。



③津波標識(勿来町)



④避難階段(佐糠町)

常磐バイパス

J O B A N - B Y P A S S



いわきサンシャインマラソン

いわきサンシャインマラソンは、平成22年2月14日に第1回が開催され、平成24年2月12日に開催された第3回大会より、「日本の復興を「いわき」から」をテーマに、震災からの復興を祈念して開催されています。

平成28年2月14日に開催された第7回大会では、全国各地から8千人以上のランナーが参加し、多くの市民やボランティアが大会を盛り上げました。



国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所
〒970-8026 福島県いわき市平字五色町8-1
TEL 0246-23-2211(代表)



平出張所
〒970-8021 福島県いわき市平中神谷字六本樓20
TEL 0246-34-8394

[磐城国道事務所ホームページ](#)



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

携帯サイトQRコード



このパンフレットは、環境に優しい再生紙とベジタブルインクを使用して印刷しています。

平成28年3月作成